

旧児童寮重度棟竣工式 初代理事長『精神薄弱児施設経営の理念』より (抜粋)

1. ～4. 略

5. 民間社会福祉施設の特徴

民間社会福祉施設は公的社会福祉施設に対するもので、民間という言葉の中には公的なものとは異なった特徴がある。しかし、一般に福祉事業は国境にない公的なもので一宗一派の宗教宣布のためのものではなく、又一個人の考えだけで実施してよいというものでもない。次に民間福祉施設の特徴を列記してみよう。

(1)～(8)・・・省略

6. 今後への道

精神薄弱児教育について本腰を入れ始めてから20有余年を経過した。前半は全く閉鎖的個人的なものであったが後半には社会福祉事業として全く正反対に新しい開かれた施設となった。今後進むべき道を次に列記する。

- (1) 社会福祉事業法の精神を保ちつつ民間福祉事業として積極性をもって恒久的に実行する。
- (2) 仏教精神を中核的生命として堂々と社会に進出する。
- (3) 民間社会福祉事業の使命を發揮し社会福祉事業の先駆的な実験の道場として使命を果たす
- (4) 民間事業とする独自の価値と自主性を確保し、事業の責任を果たしつつ社会の連帯的機能を發揮する。
- (5) 土浦市の一角から更に広域のニードに対応し、地域の人々の参加を乞うて地域福祉を高め、社会改造の大目的に突進する基礎作りをする。
- (6) 職員のチームワークにより社会福祉事業の近代化、管理の合理化、サービスの専門化及び福祉の臨床的な場として押し進めていく。
- (7) 職員に対し計画的に先進の海外、国内の施設に派遣して視察実習研修させて資質の向上と視野の拡大を図る。
- (8) 対象者の重度化・重複障害化・幼児化のため日常生活の自立を計りつつ学習、職業等の指導訓練をするが、特に嘱託医やボランティアの協力を得て医学心理学等の立場に立った治療をしたい。
- (9) 福祉センター的役割を果たすべく施設設備の充実と図書室の充実を図り、相談・診療・検査・研究の4部門をおく。
- (10) 急激な社会変動に伴い対象者のニードに応ずる医学的診療、成人、老化、授産、通勤、家庭的な小規模施設の併置を考慮する。
- (11) 学園の後援会組織を強化し、又法人の収益事業を考慮して、園自体の経済的な基盤の確立を計り、施設事業の円滑な経営運営に寄与したい。